

昼飯大塚古墳歴史公園へようこそ

昼飯大塚古墳は今から約1600年前に築かれた岐阜県最大の前方後円墳です。その特徴は墳丘の長さが150mにもなることやその構造が三段築成となる点、さらには後円部の頂上に竪穴式石室、粘土櫛、木棺直葬という三つの埋葬形態が存在する点にあります。

保存整備では現況の墳丘を修復しながら、後円部の一部に復元ゾーンを設けて葺石や埴輪、周壕を復元しています。



おもな出土品（一部は大垣市歴史民俗資料館にて展示）

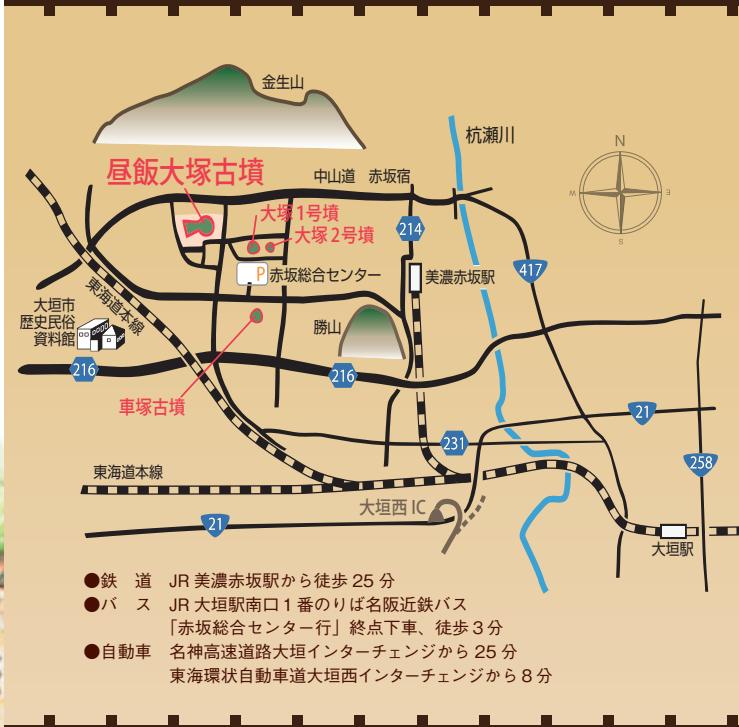


玉類



鉄刀

盗掘を受けている竪穴式石室からは多くの玉などが出土し、木棺直葬には多数の鉄製品が供えられていました。



古墳データ

古墳の築造年代

古 墳 の 規 模

出 土 遺 物
(墓 丘)

(埋 葬 施 設)

史 跡 の 指 定

4世紀末（古墳時代中期）

墳丘長約150m、後円部径99m、高さ13m、
前方部高9.5m、周壕含む総全長約180m

円筒埴輪、形象埴輪（家・蓋・盾・鞍・甲冑形）、
勾玉・ガラスなどの玉類、土器・土製品など

①竪穴式石室（北棺）：過去に盗掘を受ける。未調査。

②粘土櫛（南棺）：未調査。

③木棺直葬（西棺）：棺外から鉄劍・鉄刀・鉄製の工具などが出土。
棺内は未調査。

平成12（2000）年9月6日 面積：12,641.71m²

（大垣市教育委員会編「史跡 昼飯大塚古墳Ⅱ」2009年による）



AR用確認タイル

IT型ガイダンスシステム

墳丘上に設置したARマーカーに、専用タブレットPCを向けることによりジオビューワシステムが作動し、古墳の仮想表示や説明を音声で聞くことができます。詳しくはお問い合わせください。

※AR=Augmented Realityの略。拡張現実。



問い合わせ先

大垣市教育委員会文化振興課

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地 TEL. (0584) 81-4111

ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp/>

史跡 昼飯大塚古墳

ひるいおおつかこふん

The Historic Site Hirui-Otsuka Burial Mound



美濃最大の前方後円墳 扇飯大塚古墳

王が見た古代の風景が甦る——…

